

消費者の選択と行動で未来をひらこう！ ～暮らしをより良くするために、今、必要なこと～

「全国消費者大会」は今回で53回目の開催となる消費者と消費者団体の集会です。
今回も「世界消費者権利の日 World Consumer Right Day」に合せて開催します。

今、私たちの選択と行動が問われています。

一人ひとりの消費者の力は小さいけれども、意思を大きく束ねた消費者運動は、社会を変える大きな力になるはずです。

第53回全国消費者大会は「消費者の選択と行動で未来をひらこう！」を全体テーマとして、全国の消費者団体が参加・交流します。

私たち消費者団体は、行動することを通じて、消費者の選択が生きる社会を創ります。

どなたでも参加できますので、ぜひ多くの方のご来場をお待ちしています。

日程と会場

2015年 **3月13日**(金)～**3月14日**(土)

主婦会館プラザエフ内各会場

〒102-0085 東京都千代田区六番町15

電話 03-3265-8111

主催 第53回全国消費者大会実行委員会

参加費 おひとり1,000円

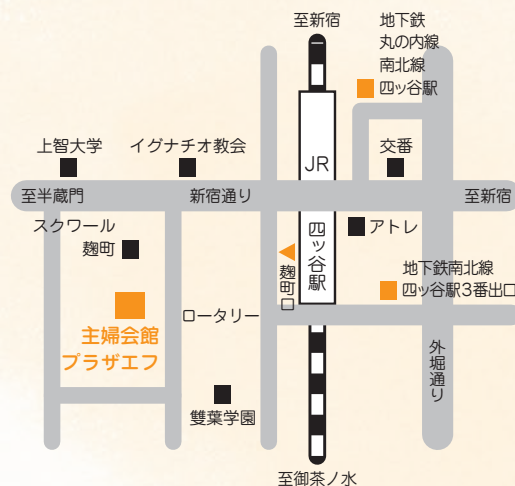
(全体会、特別分科会、各分科会の全てにご参加いただけます)

託児

あり

※託児(1才～未就学児)をご希望の方は2月25日(水)までに事務局にお問合わせください。

(期日までにご希望がない場合は、取り止めさせていただきます。)



第53回全国消費者大会(3月13～14日開催)《参加申込用紙》

参加申し込み方法

申し込み用紙をご利用の上、FAXが電子メールで、
右記までお申し込みください。

締切日：3月6日(金)

FAX: 03-5216-6036

メールアドレス: webmaster@shodanren.gr.jp

全国消費者団体連絡会事務局気付

第53回全国消費者大会実行委員会事務局

〒102-0085 東京都千代田区六番町15 プラザエフ6階

電話: 03-5216-6024

ホームページ: <http://www.shodanren.gr.jp>

参加者のお名前およびご所属団体名	参加希望企画に○をつけて下さい。		
	3/13分科会 13:00～	3/13特別分科会 17:00～	3/14全体会 10:00～
お名前: ----- ご所属団体名:	消費者政策 環境 食 社会保障	特別分科会	全体会
お名前: ----- ご所属団体名:	消費者政策 環境 食 社会保障	特別分科会	全体会
お名前: ----- ご所属団体名:	消費者政策 環境 食 社会保障	特別分科会	全体会

* どなたでもご参加いただけます。お気軽にお申し込み下さい。

* いただいた情報は消費者大会参加集約の目的以外には使用いたしません。

* お申し込み状況によっては、分科会の間で参加者を調整させていただく場合があります。予めご了承ください。

ご連絡先TEL:

分科会

2015年3月13日(金)

「消費者政策」分科会 13:00~16:00

テーマ：消費者市民社会の実現に向け、いま私たちに求められること

会場と規模：7Fカトレア(80名)

ファシリテーター：萩原 なつ子 さん

(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授)



消費者教育推進法には「消費者市民社会」の概念が盛り込まれました。一方、「消費者市民社会」の実現に向けた取り組みは、同法の施行前から様々な形で実践されてきました。

国の消費者教育推進会議が報告書を取り

まとめるこの機会に、ワールドカフェでリラックスしながら「消費者市民社会」の実現に向けて消費者(団体)がどのような役割を發揮できるのか話し合います。

「環境・エネルギー」分科会 13:00~16:00

テーマ：観光立国より環境立国！！

会場と規模：B2クラルテ(80名)

講師：飯田 哲也 さん(認定NPO法人環境エネルギー政策研究所 所長)

吉原 毅 さん(城南信用金庫理事長)

山崎 求博 さん(NPO法人足元から地球温暖化を考える市民ネットエドがわ事務局長)



環境・エネルギー問題を違う角度から3人の講師の方にお話しいただきます。その後「これからできる事、すべき事、変えるべき事など」を会場全体で共有化します。

「食」分科会 13:00~16:30

テーマ：「どうする？日本の食と農

～健やかな命をはぐくむために」

会場と規模：8Fスイセン(70名)

講師：アーサー・ピナード さん(詩人・俳人・随筆家)



ユネスコ世界無形文化遺産として認められた「和食」ですが、日本の食料自給率は39%と先進国の中でも最低です。生産、文化、環境保全を担い、地域を支える農業は米価暴落、TPP、担い手問題に直面し、さらに「成長戦略」の下「農業改革」で、より一層の競争や自己責任を迫られています。心と体、社会の健康をはぐくむ「食と農」のありかたについて、講演後、意見交換を通して私たち消費者ができることを考えます。

「社会保障」分科会 13:00~16:30

テーマ：公平な負担ってなに!?

～社会保障制度の変化と財源問題を考える～

会場と規模：5F会議室(70名)

講師：芝田 英昭 さん(立教大学教授)



社会保障制度は、国民の「安心」や生活の「安定」のためつくられましたが、国民生活はなお不安の中にあり、頼るべき社会保障制度においても、その制度と財源をめぐって国民の安心は得られていません。消費税8%で社会保障は充実したのでしょうか？本当に公平な負担って何でしょうか？社会保障制度とその財源問題のあり方について一緒に考えてみませんか。

特別分科会

2015年3月13日(金)

17:00~19:00

テーマ：憲法がめざす国民が主権者の社会

会場と規模：B2クラルテ(200名)

講演『東日本大震災、その後何が起きている?』

講師：中村 梧郎 さん(報道写真家)

講演『憲法がめざすもの～これからのわが国を考える』

講師：伊藤 真 さん(弁護士、法学館法律事務所所長)



この国の主権者として、消費者市民として、今、私たちの選択と行動が問われています。日本国憲法は、近代の歴史が築

き上げた普遍の原理が詰まった宝物です。憲法がめざす社会と今の現実について考えます。

全体会

2015年3月14日(土)

10:00~12:00

テーマ：消費者の選択と行動で未来をひらこう!

～暮らしをより良くするために、今、必要なこと～

会場と規模：B2クラルテ(200名)

講演『暮らしの視点から、経済を考えるために』

講師：山家 悠紀夫 さん(暮らしと経済研究室)



前日の各分科会の内容をコンパクトに報告し、全体で共有します。また、講演では日本経済の状況を「家計」の側から考えます。この間の「構造改革」がもたらした日本経済と社会の変化はどのようなものか、暮らしを良くするためには何が必要なのか。消費者団体として経済を分析していく視点について学びます。